

米の全量全袋検査における詳細検査の結果について

平成24年11月27日

水田畑作課

I 基準値を超える放射性セシウムが検出された玄米について

本日、24年産米の全量全袋検査でスクリーニングレベルを超えたいわき市旧山田村産の米をゲルマニウム半導体検出器で詳細検査を実施した結果、基準値を超える放射性セシウムが検出された。

1 経 過

- (1) 11月20日、いわき市旧山田村の米の全量全袋検査の結果、3袋でスクリーニングレベル（74ベクレル／kg）を超える放射性セシウムが検出された。
- (2) 当該米袋から検体を採取し、11月27日、県農業総合センターのゲルマニウム半導体検出器で分析を行った結果、基準値を超える140ベクレル／kgの放射性セシウムが検出された。

2 検査結果

検査区分	検査実施数	検 査 結 果
全量全袋検査	4袋 ※	スクリーニングレベル超 3袋
ゲルマニウム半導体検出器での詳細検査	3検体	基準値超過 1検体 放射性セシウム濃度（140Bq/kg）

※ 当該農家1戸の検査実施数

3 当該農家の生産状況

- (1) 作付面積：40a（コシヒカリ30a、こがねもち10a）
- (2) 収 穫 量：27袋（30kg）

4 当該地域（いわき市旧山田村）の生産状況（農林業センサス）

- (1) 稲作農家数： 203戸
- (2) 水稻作付面積： 167ha

〈参考〉いわき市全体 稲作農家数：5,036戸、水稻作付面積：4,232ha

5 今後の対応

- (1) 本日、各市町村及び集出荷業者等に対し、いわき市旧山田村で生産された米の出荷自粛を要請する。
- (2) 基準値を超過した米袋については、いわき市が隔離・保管し、流通しない。
なお、同地域の米で全量全袋検査を実施し、基準値以下であることを確認した上で出荷された米袋については、回収する必要はない。
- (3) 今回の結果を受け、国から出荷制限の指示があるものと考えられるが、24年産米については、米の全量把握と全量全袋検査の実施を条件に解除できることとなっており、いわき市に当該区域を対象とした管理計画の策定に早期に着手するよう促すとともに、出荷制限の速やかな解除に向けて、国との調整を進めて行く。
- (4) 今後、当該ほ場で基準値を超えた玄米が発生した原因について、究明していく。
- (5) 当該旧市町村で生産された稲わらについて、飼料としての流通と利用の自粛を要請する。
- (6) 今後とも、県産米の安全性を確保するため、県内全域で全量全袋検査を実施していく。

II その他の詳細検査

郡山市（旧富久山町）産の玄米の詳細検査を実施し、全て基準値以下であった。

〈問い合わせ先〉

福島県農林水産部水田畑作課 天野

電話 024-521-7359（内線 3201）

緊急時モニタリング検査結果について(福島県・穀類)

放射性セシウム
5品中
100Bq/kgを超えるもの1品

No	場所	採取日時	試料の種類	測定結果		
				セシウム-134 (Bq/kg)	セシウム-137 (Bq/kg)	合算値 (Bq/kg)
1	郡山市(旧富久山町)	H24.11.22	玄米	36.6	57.0	94
2	郡山市(旧富久山町)	H24.11.22	玄米	39.3	60.1	99
3	いわき市(旧山田村)	H24.11.20	玄米	35.3	61.2	97
4	いわき市(旧山田村)	H24.11.20	玄米	35.6	54.9	91
5	いわき市(旧山田村)	H24.11.20	玄米	52.3	91.3	140

食品衛生法における一般食品の基準値 セシウム:100Bq/kg(セシウム-134、セシウム-137の合算値)

※合算値:セシウム-134とセシウム-137の合算値については、有効数字2桁(上位から3桁目を四捨五入したもの)で記載しています。